

ユメリア徳重 10周年記念事業

# 徳重塾の見聞録1



講師の釘山健一氏(右) 小野寺郷子氏(左)

徳重塾は徳重支所主催のユメリア徳重 10周年記念事業として企画されました。緑区まちづくりスキルアップ塾として、緑区でのまちづくりに活かしてみたい方を募集して39名が応募しました。その内訳は住民(18名)のみでなく大学生(11名)、行政(10名)からの参加があることが特徴です。11月から3月までの6回のワークショップを予定。第1~3回の概要を報告します。

◆第1回は11月1日(日) 地区会館体育室で開催されました。平松徳重支所長は「支所管内 12万人と人口は増加し、人とひとの交流が難しいことで企画させてもらった」と挨拶されました。テーマは「対話による協働のまちづくりスキル

を学ぶ」です。講師は会議ファシリテーター普及協会の釘山健一氏と小野寺郷子氏です。グループごとに自己紹介後「地域の人がまちづくりについて楽しく語り合うことが大事」と出されました。事例の藤岡市市民討議会のスライドから「人は楽しいときに動く、すると若者や女性の参加が増える。遊びどころが社会を変える」など教訓が出されました。まちづくりとは何ですか?の問いかけで定義はないが「地域の人々が幸せに暮らせるまちをつくること」と理解して下さいと説明されました。最先端のまちづくりの視点は、①いろいろな人と一緒にやる



徳重塾の会場

協働、②会議から対話の場へ、想いを語り合う、③女性の活躍、④楽しくやる、⑤身の丈で出来ることを、⑥夢実現型のまちづくり。と話されました。最後に人の気持ちをどう動かすか? 「告白するときと同じ」人は雰囲気の中で動くので、明るく前向きな集団に囲まれると変わることが強調されました。

◆第2回 11月22日(日) テーマは「対話のスキル(ファシリテーション)を学ぶ」です。課題「会議が始まり時間になっても参加者がそろいません。進行役としてあなたはどのようにしますか?」に対して意見を付箋に書き模造紙にまとめました。結論は会議の時間を守り始めることです。理想の会議とは、①楽しいこと、②意見を聴きあう、③時間を守り、時間内に結論を出す。会議で合意するためには、言いたいことを十分に言えることです。そのために付箋を使い①思いついたことを②何でもいいので③沢山書いてもらう。最後に合意が生まれる4段階は①明るく前向きな雰囲気、②言いたいことが十分に言える(付箋を使う)、③自分たちの意見を整理する、④意見を投票で決めることでした。何事も多数決で決めると手っ取り早いですが、不満が残ることを配慮すること。当日、ユメリア徳重ニュースとサポータークラブのご案内が全員に配布されました。

◆第3回 12月20日(日) テーマは「緑区(徳重・ユメリア)の良いところをもっと元気にするアイデアを出そう!」です。個人の思いを付箋に書き、まず一枚ずつ貼り出す。次に「似た意見の方お願いします」に誘われて、付け足す。同じ意見は囲んでタイトルをつける。提案を3つに絞り、注目を集めるタイトルをつけプレゼンをする。参加者全員で投票して順位を決める。まちづくり的事業展開では、アイデアが出たら少しだけ実績をつくる。それを報告書にまとめマスコミに宣伝して資金を集める。この発想がビジネス的事業展開からの脱却となる、との話で講座をまとめました。



アイデアを出し、投票する

## ユメリア徳重 10周年記念合唱祭を開催♪

緑文化小劇場にて徳重の魅力と言える地元中学校合唱部と地元テノール歌手の歌声を楽しみました。参加人数を大幅に制約した中での開催となりましたが、熱心に練習を積み舞台に臨んで最高の舞台を作り上げていただきありがとうございました。貴重な男子生徒4人を囲んで臨時の男声合唱団を結成し「ダニーボーイ」を歌うなど工夫された企画に感動しました。サポータークラブは受付係やアンケート回収というささやかなお手伝いをしました。



当日の映像はこちらから♪



URL <https://www.youtube.com/channel/UCKMBRISNGc-og12F4800-UA>